

留学報告書 II (2022 年度留学生)

塾内在籍校・学年(派遣時)	慶應義塾高等学校 2年
留学先校名	Deerfield Academy
留学期間	2022年 9月から 2023年 5月まで

留学を振り返って

留学先では、期待どおりの生活を過ごせましたか？（留学先の良かった点・悪かった点も教えてください。）

Deerfieldでの生活は期待を遥かに超えるものでした。行く前に過去の留学生のお話を聞きアメリカのボーディングスクールの雰囲気は大体分かっていたつもりでしたが実際待ち受けていたのは唯一無二のものでした。まず学業の面について、内容は日本のクラスより細かく、充実しており生徒達が皆積極的に取り組む環境でした。日本では触れることのない色々な分野について世界各国から集まった優秀な生徒達と議論を交わしながら学ぶことができました。アメリカ特有の人種の多様性や差別などのトピックについてもしっかり自分なりに考えた上でクラスメイトや先生の意見を取り入れるという感じでした。宿題ではエッセイ、読書、動画鑑賞が課されることも多く、英語はもちろんクリティカルシンキングの能力を伸ばすことができました。生活面ではとても良い友達に恵まれたということもあり毎日が充実していました。生徒数は650人ほどと小規模でしたがさまざまな人種、国籍、政治的思想、経済状況、人生経験、能力を持ち合わせた人たちが集まっている刺激的な環境でした。夕方に誰かの部屋で友達と話しているだけで新しいことを学ぶことができ、自分の視野や価値観が大きく変わりました。また1年という短い期間で想像を超える本当に素晴らしい友達関係を結ぶことができたのも良かった点です。友達とは一緒に授業を受け、食事をし、放課後時間を過ごし、週末は遊ぶため質の高い関係を築くことができました。辛い時はお互いを励ましあい楽しい時は皆でその瞬間をシェアし大切な思い出を沢山作ることができました。悪い点は思い浮かばないほど充実した貴重な体験でした。

クラブ活動や課外活動など、学業以外の活動について教えてください。

秋学期のクラブ活動はアメフトに取り組みました。自分自身アメフトをするのは初めてで最初は心配でしたがコーチ陣がボールの持ち方などの基本的な事から教えてくれたおかげで不安は解消しました。50人ほどの大きい部活でしたがチームの雰囲気はよくアメフト部を通じて1年の最初に沢山友達を作ることができました。練習は日曜以外毎日2時間、試合は毎週水曜日に Junior Varsity 戦、土曜日に Varsity 戦がありとても忙しかったです。アウェー戦の時は夜の9時頃に帰る時もありました。

冬学期は Rec Squash というスカッシュを週に2回やるクラブ活動に友達に誘われ参加しました。活動時間が夜の7時から8時と遅かったので放課後はジムに行くようにしました。秋にアメフトと一緒にやっていた人たちと毎日ジムへ行き飽きることなく楽しくトレーニングができました。また週末は友達とバスケットやホッケーの試合へ行ったので暇ではありませんでした。アメリカのハイレベルなスポーツを観戦し学校全体が一体となり盛り上がる貴重な体験をすることができました。

春学期はラクロス部に参加しました。アメリカの高いレベルのラクロスに取り組むことができ良い体験でした。試合は毎週水曜日と土曜日にあり練習も日曜日以外毎日あったため忙しかったです。また春学期には Dartmouth 大学で開催された模擬国連に学校のチームの一員として行きました。自分にとって初めての模擬国連でしたが積極的に議論に参加をすることができました。

学業について

各授業について授業の内容・進め方・課題・試験・日本との比較などについて触れながら記入してください。

American Identities: 「アメリカ人であるとは何か」や「自分のアイデンティティーは何か」などの問いについて考える英語のクラスでした。生徒 10 人で構成されていたこともあり積極的に授業のディスカッションに参加することが要求されました。毎日の宿題は授業で扱う本を 20-30 ページ読み次のクラスのディスカッションに備えることでした。年間を通じて 8 冊の文庫本を読み、本を読み終えるたびにエッセイが課されました。また 3 回 In-class writing といい 1 時間という時間制限のもとエッセイを書くことができました。最初は宿題のエッセイを書くのに苦労し書き終えるまで何時間もかけていましたが、最後の方は慣れそれほど苦労することはありませんでした。

Spanish 1: スペイン語初心者向けのクラスで Freshman から Senior まで色々な学年の生徒が混じって一緒に授業を受けていました。教材は教科書と毎学期違うスペイン語のテレビドラマを使っていました。宿題はテレビドラマの 1 エピソードを観てそれについての問題を解くことでした。授業中はクラスメートとスペイン語で質問しあうなどの実践的な事に取り組みました。先生の教育方針として単に文法や単語を詰め込むのではなく実際に話し、ドラマを通じスペイン語を聞くことにより自然に身につけるようにしていました。教科書の単元を終えるたびに筆記の試験に加え決められたパートナーと特定のテーマについてプレゼンを作成し、年の最後には先生とスペイン語で会話をするテストがありました。

Precalculus: 先生の説明を聞く前に生徒達が Study guide を見て協力しながら問題を解き、それでもわからない場合は先生に頼るという特殊な授業方針でした。毎クラステストがあり前の授業でやった内容について聞かれました。宿題はそのテストに向けての復習でした。

US History: コロンブスがアメリカに上陸した時代から現代の時事問題までについて学習しました。毎学期学習することはテーマごとに別れており、秋は「政府の役割」、冬は「時代によって変わる American Identity」、春は「外交政策」でした。授業は宿題で課されたリーディングについて先生が生徒たちとディスカッションしながら進めていました。また年に数回評価されるディスカッションがありました。毎学期の終わりに大きいエッセイが課され、学期の中に数回中規模のエッセイを書いていた。宿題は先生が選ぶニュース記事、論文、本、動画を見ることでした。様々な学習方法を通じてアメリカの歴史について学ぶため、個人的に一番興味深い授業でした。日本の歴史の授業と異なり現在の社会にも繋げて学ぶので世界を見る目が変わった様に思います。

Photography: 先生にデジタルカメラとフィルムカメラの使い方を教わり、自分が決めたテーマに沿って毎授業自由に写真を撮るという形式でした。先生が生徒達を近くの山や街に連れて行って写真を撮ることもありました。学校にフィルムカメラを印刷するためのダークルームもあったため本格的でした。学期の終わりには撮った写真の中から良い 20 枚ほどの写真を選び Portfolio に入れてクラスの前で発表しました。また、年の最初には各生徒が有名な写真家について調べプレゼンをするという課題もありました。

今後について

この派遣留学を通して、自分自身にどのような変化があったと感じていますか。

小学 4 年生の頃から日本で生活をして日本人に囲まれながら学校に通っていましたが、アメリカのボーディングスクールへ行き様々な国籍、思想を持った人と生活をしているうちに自分と彼らの違いが明らかになり、彼らとの違いこそ自分特有の identity だと気づきました。このように自分の identity を見つけ、

実感することができました。自分の長所と短所両方を客観的に見つめることができるようになり、これからの人生において長所をどのように活かし短所をどのように改善できるかを考えるきっかけになりました。1年間の派遣留学で世界中から来た様々なバックグラウンドを持った生徒達と一緒に住むことにより、日本に住んでいると触れることのない考え方や意見に晒されました。

また Deerfield への留学を通じ幅広いトピックについて知見を深めることができました。歴史の授業で学習した現代のアメリカの外交政策や時代と地域によって異なる政治思想、American Identities で学んだ移民家族のアメリカ社会に準じるかどうかのジレンマ、また友達に興味を持つ経済、気候変動、演技、ローイング、政治など、日本で生活をしていたら触れることのないテーマについて考える機会をもたらしてくれました。これにより世界が広まったと同時に初めて触れる分野について様々な方面から critical に考える癖がつかしました。友達と隙間時間を使い会話しているだけでも自分にとって新しいことについて話すことができるので毎日が新発見に溢れていました。

最後に、新進気鋭な生徒で溢れた学校で過ごし自分にモチベーションを与えてくれました。ディバートの世界大会で優勝を果たした人、大学レベルの数学をこなす人、自分のスポーツでアメリカ代表入りを果たした人、恵まれない子供達の良い教育へのアクセスを助ける組織を立ち上げた人など、様々な能力を持った生徒に囲まれ自分のこれからの人生を最大限に活用しようとするようになりました。

今後の派遣留学生へのアドバイス

9ヶ月の留学はあっという間に終わってしまうので毎日を大切に有意義に使ってください。また留学先でしか体験できないイベント、課外活動に積極的に参加することをお勧めします。自分自身留学開始前は想像していなかった意外なところで思い出を作ることができたのでとにかく興味が少しでもあれば挑戦した方がいいです。また留学生活は関わる人によって大きく変わるので好影響を与えてくれるような友達を作るのが大事です。しかし同じ仲間と常にいると多様性に溢れたボーディングスクールの長所を十分に活用できないので僕自身は色々な人と話し、関わる事を心がけていました。

学業の面では先生は皆協力的で優しいので困った頃があれば相談して親身になって助けてくれます。ですので小さいことでも我慢するのではなく相談して解決することをお勧めします。僕自身留学前は勉強が心配でしたが困ったら友達を含め相談できる人がたくさんいるので安心してください。

以上

